

高知市立

# 自由民権記念館紀要

No.29

2025. 3

(令和 7)

---

## ○事業報告

「教員のための博物館の日」開催報告ー学校との連携を目指してー

..... 濱田 実侑

---

高知市立自由民権記念館

# 「教員のための博物館の日」開催報告

―学校との連携を目指して―

濱 田 実 侑

## 一 はじめに

高知市立自由民権記念館（以下、当館）は、一九九〇（平成二）年四月に開館した博物館である。当館の使命は「自由民権運動及び土佐の近代に関する資料を広く収集し、保管し、展示して市民の利用に供し、もって教育、学術及び文化の発展に資する」ことであり、かつ「学校教育・社会教育とも連携する生涯学習施設」であることを基本的性格としている。

博物館と学校が関わり合い、連携、協力しながら教育活動を行うこと（「博学連携」等と称される）については、従前より博物館と学校の両現場において求められてきた経緯がある。例えば、博物館法では「学校等の教育施設と協力し、その活動を援助すること」とされていることに加え、令和五年の改正では、学校を含めた多様な主体と連携し地域の活力向上に寄与することが努力義務とされた。また学校現場でも、現行の学習指導要領において博物館等の積極的な活用が求められているところである。

以上のことから、当館も、開館当初よりさまざまな取組を通じて学校との連携を図ってきた。しかしここ数年、団体観覧や出前授業等で当館を活用する学校数は減少傾向にある。こうした状況を改善するため、当館では、今年度から「教員のための博物館の日」を開催することにした。

本稿は、この「教員のための博物館の日」開催に至る背景と、実施内容、参加教員の反応（アンケート結果）について報告するものである。

## 二 実施の背景

まずは、当館のこれまでの教育活動について、学校との連携という視点から振り返っておきたい。

### (1) 高知市教育研究会社会科部会（以下「社会科部会」）との連携

「社会科部会」は、高知市内の教職員が参加する自主的組織である。この「社会科部会」と当館は、共催で、一九九六（平成八）年度から「子ども歴史教室」、二〇〇一（平成一三）年から「社会科作品展」を開催しており、いずれも若干の名称変更等はあるながらも現在まで継続できている。その成果はさることながら、現役の教職員から意見を聴取できる貴重な機会となっている。また、社会科部会の教職員とのこうした関わりは、団体観覧や出前授業の機会だけでなく、二〇一七（平成二九）年度企画展「子どもたちに伝えたい 板垣退助」（板垣退助生誕一八〇年記念）や、二〇一八（平成三〇）年度に当館が発行した副読本「板垣退助ブック」への協力など、他事業へも広がりがつつある。

### (2) 学校利用の促進事業

当館は、二〇〇〇（平成一二）年度から、児童・生徒の歴史学習・地域学習の場として利用しやすい環境を整える目的で「モデル校」事業を開始した。本事業は学校から当館までの交通費の補助を兼ねたものであり、参加を希望する学校は多く、一〇年間継続することとなったが、二〇一〇（平成二二）年度に一度の成果を得たとの判断から終了した。同年以降は、職員が学校へ出向く「出前授業」促進事業に切り替えた。

現在は、学校の要望に応じて団体観覧の対応や出前授業を随時行っている状況である。

### (3) 広報活動

学校に対して、当館の活用方法を知らせる目的で各種広報を行っている。例えば、高知市立小・中学校の校長会での説明、企画展・イベントチラシの配布、当館広報誌『自由のともしび』の配布（教育プログラム紹介や実

施報告を都度掲載している）、教職員対象研修の実施等である。

こうした活動はいずれも派手なものではないが、一校でも多くの学校に当館を活用してもらい、一人でも多くの児童・生徒に来館してもらうため、地道に続けてきたものである。

しかし、令和二年度以降、団体観覧で当館を訪れる学校数が大幅に減少した。筆者はその原因を新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えていたが、コロナ禍を脱した現在でも、残念ながら明らかな回復の兆しは見られない。また、出前授業等、団体観覧以外の活用についても決して多くはないのが現状である。そこで今年度初めて実施することにしたのが、この「教員のための博物館の日」（以下、「博物館の日」）である。

「博物館の日」は、二〇〇八（平成二〇）年に国立科学博物館が始めた事業である。教職員に「博物館に親しみを持ってもらうこと」、「博物館の学習資源を知ってもらうこと」を目的として開催しているものである。現在、その活動の輪は全国各地の博物館に広がっており、参加館の数も年々増加している。当館は今年度初めて参加させていただいた。

先に述べたとおり、当館では、学校に対して活用促進を目的とした各種広報活動を行っている。今回の「博物館の日」実施についても、こうした広報活動の一環として位置付けることができよう。

### 三 「博物館の日」実施内容

#### (1) 基本情報

- ① 名称 令和六年度 教員のための博物館の日
- ② 日時 令和六年八月八日（木）
- ③ 場所 高知市立自由民権記念館 一階研修室、二階常設展示室
- ④ 対象 教員・教員志望の大学生・教育関係者
- ⑤ 参加費 無料
- ⑥ 主催等 主催…高知市立自由民権記念館  
共催…国立科学博物館、公益財団法人日本博物館協会  
後援…文化庁

#### ⑦ 内容

A 教員のための博物館の日 プログラム（対面式／要申込／午後一時三〇分から三時三〇分まで／参加者一二名）

- ・当館館長による展示解説
- ・当館学芸員による当館の活用方法の提案
- ・学習グッズの体験

B 常設展示室見学（自由見学／申込不要／終日／参加者二名）

当館受付で『教員のための博物館の日』に参加する旨を申し出た来館者を対象に、常設展示室を終日無料で見学できることとした。

#### (2) 目的

当館の「博物館の日」実施の目的は、国立科学博物館の「博物館の日」実施の目的と同じく、「当館に親しみを持ってもらうこと」と「当館の学習資源を知ってもらうこと」とした。

目的達成のため、本企画の担当者である筆者が気を付けていたのは、教職員が「気軽に」参加できるプログラムとすることであった。「博物館の日」そのものを当館の広報活動ととらえるならば尚更、一人でも多くの教職員に参加してもらう必要があるためである。

そこで、「気軽に」参加してもらうために行った実際の手立ては次のとおりである。

- ① 対面式プログラムの実施時間を、可能な限りコンパクト（展示解説を含めて二時間以内）に設定し、かつ途中参加・退出可とする。
- ② 申込方法を、電話とインターネットのどちらでも受付可とする。
- ③ 対面式プログラムのほか、事前申込なく、無料で常設展示室を見学できるサービスを用意する。

④ チラシに「まずはお気軽に来館いただける機会にしたい」と記すことで、本企画のスタンスを明確にする。

また、本企画を「研修」ではなく「博物館の日」として実施することにしたのは、当館や自由民権運動に対するネガティブなイメージ（内容が難しそう、堅そう、児童・生徒向けではなさそう等）を払拭したい、楽しげなイベント感を大切にしたい、という筆者の個人的な思いからだったが、

このこと自体も「気軽」に参加いただくための手立ての一つと考えることもできるだろう。

### (3) 広報

「博物館の日」の準備にあたって課題となったのは、広報手段である。教職員と博物館関係者が情報共有できる決定的なツールはなく、各校へのチラシ配布についても、内容や枚数、配布方法によっては受理してもらえない場合があるためである。

今回は、当館初めての「博物館の日」開催であるため、高知県内の全教職員へお知らせすることを目標に、回覧依頼の添え状とチラシ【資料1】一部ずつを高知県内全校に送付することにした。結果、教職員対象のイベントであること、配布枚数が一枚であること（配布の手間がかからない）から、高知県内ほとんどの学校に受け取っていただけたことは幸いであった。しかし、一部市町村からは「配布には高知県教育委員会の後援が必要である」との指摘をいただいたので、これについては次回以降の課題としたい。

その他の広報手段については次のとおりである。

- ① 高知市小・中学校校長会での口頭説明、チラシ配布
- ② 高知市教育研究会社会科部会と例年共催で行っている「夏休み子ども歴史教室」に参加している先生方への口頭説明、チラシ配布
- ③ 高知市教育研究会社会科部会の教員全員へチラシ送付（メール）  
※同部会に所属されている先生（個人）の御厚意により実現いたしました。心より感謝申し上げます。
- ④ 県内で文系の学部を持つ高知大学・高知県立大学の大学コーディネーターへの口頭説明、チラシ配布依頼  
※本企画は教員を目指す現役学生も対象としているため。

### (4) 対面式プログラムの内容

#### ① 当館館長による展示解説（約1時間）【写真1】

今回は、常時開室している常設展示室を中心に展示解説を行った。また、より具体的に団体利用のイメージを描いてもらうために、当館



【写真1】



【写真2】

で作成・無料配布している「常設展示室ワークシート」を参加者に配布した。

#### ② 当館学芸員による当館の活用方法の提案（約30分）【写真2】

当館の活用方法（団体観覧、出前授業、レファレンス、収蔵資料の画像利用等）について、スライドを使って説明した。その際、利用のイメージを掴んでいただくために、過去の実施内容と子どもの反応等を併せて具体的に紹介した。

#### ③ 学習グッズの体験（約30分）

当館制作映像資料「自由民権って何？」（一二分）の視聴など、当館で活用できる学習グッズを体験していただいた。

#### ④ その他

プログラム終了後は、参加者を対象にアンケートを実施した。

#### 四 アンケート調査からみた教員の反応

「博物館の日」プログラム終了後、参加者へアンケート【資料2】を実施した。アンケートの目的は、今回の「博物館の日」に対する参加者の反応を知ることと、当館の今後の教育活動の一助とすることである。

本アンケートは、対面式プログラムの参加者一二名のうち一〇名、常設展示室観覧二名のうち一名から回答を得ることができた。本稿では、対面式プログラム参加者へのアンケート結果【資料3】を中心に、参加者の反応を検討していく。

##### (1) アンケートの構成

本アンケートは三部構成となっている。第一部は「あなた自身について」、つまり回答者の属性について聞くものである。第二部は「イベントについて」、今回の「博物館の日」に関する質問である。第三部は「自由民権記念館の活用について」である。なお、この構成はあくまで回答者がアンケートに答えやすくなるために設定したものであり、アンケート結果の検討及び本稿の報告においては、特に考慮していない。

##### (2) 回答者の属性

回答者のうち八割（八人）は、小学校と高等学校の教職員であった。他二割（二人）の回答者については、放課後児童クラブ等、日常的に子どもと関わる施設の職員とのことだった（筆者聞き取りによる）。また、回答者の半数は高知市外からの参加であった。

##### (3) 参加理由（自由記入）

参加した理由は、当館の活用が前提というよりも、自由民権運動について学び直したかった、というニュアンスの回答が多くみられた。その他には、自由民権記念館に来てみたかった、日時が学校閉庁日内だった等、回答者にとって「博物館の日」開催のタイミングがちょうどよかったという回答が二件、授業における資料の取扱いについて学びたかった、博物館の活用方法について知りたかった、という趣旨の回答がそれぞれ一件ずつ得

られた。

これに関連して、「（来年も参加するとしたら）次回希望する内容」という設問では、民権家個人や自由民権運動における特定の時期や出来事にフォーカスした講座を希望する、という回答が三件得られた。ただし、今回のプログラムのボリュームと情報量について、四割（四人）の参加者が「多かった」「やや多かった」と回答しているの、専門的な講座を実施するのであれば、プログラム本体に組み込むのではなく、希望制や選択制にするなど、予備の講座として開催するのがベターであると考ええる。

##### (4) 満足度

「博物館の日」の「総合的な満足度」について、回答者のうち九割（九人）から「大変満足」「満足」という回答を得た。またその理由として、活用方法を具体的にイメージできたという意見が得られたことは幸いであった。参加者全員の回答（満足度と理由）は次のとおり。

###### ① 大変満足：五人

理由 ・ 活用の具体を描くことができた。

###### ② 満足：四人

理由 ・ 予想していた通り、歴史の復習となった。

・ とても良かった。

・ 教育現場での実践例が非常に参考になった。

※ 普通、不満、大変不満との回答はなかった。未記入一人。

##### (5) 当館の活用について

「博物館の日」に参加した教職員が今後当館をどう活用したいと考えるかということとは、筆者が最も注目していたところである。そこで「今後活用したいと思う内容」という設問を設定したところ、七割（七人）の回答者が「出前授業」を選択した。次いで多かったのは「資料画像の利用」（四人）であった。これに関連して、「資料等の画像を授業で使う機会（頻度）」については、五割（五人）の参加者が「多い」と答えている。これは、ICT教育の普及から、学校現場で画像を活用できる環境が整いつつあるということだろう。

一方で、筆者が課題として捉えている「団体観覧」を選択した回答者はわずかに二割（二人）であった。団体観覧の学校数が減少傾向にある当館としては厳しい結果となった。

これに関連して、「団体観覧（来館）」において、最も高いハードルはどれですか。」という設問については、「交通費がない」「教員の準備時間が取れない」「子どもの安全確保」「来館時間が確保できない」の各項目について、二票ないし三票ずつ、偏りなく選択されるという結果になった。なお、この設問は学校側の状況を把握するために設定したものであったが、次回以降のアンケートでは、当館についての項目（展示の難易度や、学校団体向け学習メニューの不足等）も選択肢に挙げて調査したいと考えている。

また、「当館を活用していただく機会を増やすのに、効果的なサポート・広報はどれだと思いますか（複数回答可）」という設問に対して、「交通費の補助」（三人）や「学校へのチラシ送付」（三人）という回答が多いことは事前に予想できていたが、四割（四人）の回答者が「教員対象説明会の定期開催」と回答したことは意外であった。少なくとも今回の参加者にとっては、「博物館の日」のような機会を定期的に設定することが望ましいと感じていただけたことが分かった。

## 五 高知県高等学校社会科担当教員へのアンケート調査（参考）

今年度、高知県教育委員会からお声がけいただき、「令和六年度高知県高等学校各教科等研究協議会（地理歴史・公民科）」（令和六年九月一〇日実施）にて自由民権記念館の活用方法を紹介する時間をいただいた。その際に「博物館の日」と同様のアンケート調査を行った【資料4】が、その結果が今後の「博物館の日」実施の参考となりうるものだったため、併せて報告する。本アンケートでは、研修会参加者四九人のうち、四八人から回答が得られた。なお、今回の回答者は、自由民権運動に関する歴史資料の画像を使って授業案を組み立てるグループワークと、当館の活用方法のプレゼンテーション（「博物館の日」で行った「当館の活用方法の提案」を一〇分程度に要約

したもの）を受けた上で、本アンケートに回答していることを申し添える。

### (1) 回答者の属性

回答者四八人は、全員、高知県立高等学校に所属する社会科担当教員である。そのうち、高知市内の高校教員は一三人、高知市外の教員が三五人である。また、回答者の約四割（一八人）が日本史の授業を担当しているが、回答状況から推察するに、日本史が自身の専門教科でない場合も少なくないようである。また、回答者の七割（三四人）が当館へ来館したことがあり、かつ、そのほとんど（三三人）が「展示を見たことがある」と回答している。「自由民権記念館を学校現場で活用できることを知っていましたか。」という設問では、三二人の教員が「知っていた」、残り一六人の教員が「知らなかった（今日初めて知った）」と回答している。

### (2) 当館の活用について

「今後、活用したいと思う内容はどれですか。（複数回答可）」という設問では、回答者の約六割にあたる二九人が「資料画像の利用」と回答した。これはおそらく本研修会のグループワークでの体験が影響している。次いで多かったのが「調べ学習でのサポート」（二一人）、「出前授業」（二〇人）と続き、やはり最も少なかったのが「団体観覧」（二二人）であった。

「団体観覧（来館）」において、最も高いハードルについては、「博物館の日」でのアンケート結果とは異なり、回答者のうち六割強が「来館時間が確保できない」（三一人）と回答した。これは、小・中学校と比較して一年あたりのクラス数・生徒数が多いこと、進学を見据えたカリキュラムであること（課外授業に充てる時間がない）など、高等学校ならではの背景が推察できる。さらに、今回の回答者は高知県全域の教員であるため、遠方であることも来館時間が確保できない理由の一つであると考えられる。

## 六 おわりに

以上、本稿では「博物館の日」の開催について報告した。「博物館の日」

参加者の反応や高等学校社会科教員へのアンケート調査から見てきたのは、学校側の視点で当館の活用を考えると、「団体観覧」は決して優先順位が高い活用方法ではないということである。当館は高知市中心部からやや離れているため、この立地が影響している可能性も否定できないが、ICT教育の普及、コロナ禍での経験などを経た現在の学校現場にとっては、むしろ「資料画像の利用」の方が活用の可能性は高いということであろう。当館も、可能な限りこうした需要に応えていきたい。

しかしながら、博物館の展示（歴史資料及びそれに付随する説明資料）を学習素材として活用してもらいたいという思いは、おそらくどの博物館においても共通している。筆者も、「団体観覧」を引き続き当館の活用方法の軸に位置付けていきたいと考えている。

また、当然ながら、展示を児童・生徒の学習の場として活用していただくためには、児童・生徒に分かりやすい内容にすることは必須である。当館の常設展示室は、高知の自由民権運動の流れについて全国的な出来事からローカルな動きまで豊富な情報量をもって展示しているが、職員の解説や案内なく児童・生徒だけで観覧するには、内容的に難易度が高いことは否定できない。そこで、当館では現在、新たな試みとして小学校5年生から高校生までをメインターゲットにした企画展「わたしのまちの自由民権」（会期…令和七年一月二五日から六月一日まで）を開催している。自由民権運動の大まかな流れを、ビジュアル的な資料やパネルを中心にコンパクトに紹介することを目的にしたもので、将来的な常設展示室のリニューアルを見据えて企画したものである。本企画展についても、来館者の反応も含めて改めて報告したいと考えている。

（はまだみゆ 高知市立自由民権記念館学芸員）

令和6年度

高知市立自由民権記念館

# 教員のための 博物館の日

共催：国立科学博物館、公益財団法人日本博物館協会 後援：文部科学省

8/8

(木)  
13:30~15:30



今年は  
自由民権150年!



課外授業での利用（展示見学）や出前授業の講師、教材研究の相談先として…  
先生方に、自由民権記念館をもっと気軽に活用いただきたい！  
そんな思いから、自由民権150年の今年、このイベントを開催することにいたしました。  
まずはお気軽に来館いただける機会にしたいと考えております。御参加をお待ちしています！

要申込

## 教員のための博物館の日 プログラム

日時：令和6年8月8日（木）13:30~15:30（途中参加・退出可） 会場：当館1階研修室  
対象：教員・教員志望の大学生・教育関係者 参加費：無料

- 館長による展示解説をお聞きいただけます  
教科書には載っていない小ネタや裏話、高知ならではの情報も満載です！
- 学芸員が当館の活用方法を提案します  
副読本『板垣退助BOOK』や、授業で使える館蔵資料の紹介など。  
過去の活用事例（出前授業や調べ学習）についてもたっぷり御紹介します。
- 学習グッズの体験ができます  
・民権すごろく（明治14年に作られたもの）  
・大型パズル（錦絵・古地図等）  
・当館制作映像資料「自由民権って何？」（12分）

▼お申込はこちらから▼  
(<https://x.gd/OVt4A>)



お電話での申込も可能です。  
お気軽にご連絡ください！



申込不要

1日中、常設展示室を無料で見学できます！  
受付にて「『教員のための博物館の日』に参加します」とお申し出ください。

【お問合せ先】高知市総務部 民権・文化財課 学芸企画担当 高知市棧橋通四丁目14-3 TEL：088-832-7277



R6.8.8

## 令和 6 年度 教員のための博物館の日 アンケート

本日は、御参加いただきありがとうございました。  
今後の参考のため、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

### ■ あなた自身について

所属学校の種別	<input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 義務教育学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 盲学校 <input type="checkbox"/> ろう学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）
所属学校の所在地	<input type="checkbox"/> 高知市内 <input type="checkbox"/> 高知市外（市町村名： ）
あなたの専門教科	<自由記入>

### ■ イベントについて

このイベントを知ったきっかけ	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 学校宛チラシ <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> その他（ ） ※複数回答可
参加した理由	<自由記入>
ボリューム・情報量	<input type="checkbox"/> 多かった <input type="checkbox"/> やや多かった <input type="checkbox"/> 丁度 <input type="checkbox"/> やや少なかった <input type="checkbox"/> 少なかった
総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満 (上記の理由： )
(来年も参加するとしたら) 次回希望する内容	<自由記入>

### ■ 自由民権記念館の活用について

今後活用したいと思う内容	<input type="checkbox"/> 団体観覧 <input type="checkbox"/> 出前授業 <input type="checkbox"/> 資料画像の利用 <input type="checkbox"/> 調べ学習でのサポート <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 活用したい内容がない
団体観覧（来館）において、 <b>最も</b> 高いハードルはどれですか。	<input type="checkbox"/> 交通費がない <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保 <input type="checkbox"/> (教員の) 準備時間が取れない <input type="checkbox"/> 来館時間が確保できない <input type="checkbox"/> その他（ ）
当館を活用していただく機会を増やすのに、効果的なサポートや広報はどれだと思いますか。	<input type="checkbox"/> 交通費の補助 <input type="checkbox"/> 相談窓口の開設 <input type="checkbox"/> HPでの案内 <input type="checkbox"/> 公聴会での説明 <input type="checkbox"/> 教員対象説明会の定期開催 <input type="checkbox"/> 教員対象メールマガジンの開設 <input type="checkbox"/> 各学校へのチラシ送付 <input type="checkbox"/> その他（ ）
資料等の画像を、授業で使う機会 は多いですか。	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> たまに <input type="checkbox"/> 少ない (上記の理由： )
こういった資料の画像を、授業で 使ってみたいと思いますか。	<input type="checkbox"/> 絵 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 書簡・日記（民権家直筆のもの） <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他（ ）
教育関係の研修やイベントの情報 はどのように集めていますか。	<自由記入>

その他、御意見・御要望・御感想などをおきかせください。

--

ご協力ありがとうございました。

【資料3】

対面式プログラム参加者(回答10人)

■あなた自身について

所属学校の種別	小学校	高等学校	その他	【備考】中学校、義務教育学校、特別支援学校、盲学校、ろう学校は0人。	
	5	3	2		
所属学校の所在地	高知市内	高知市外			
	5	5			
専門教科(自由記入)	社会科		その他	未記入	
	4 (地理歴史1、社会1、日本史1、地歴公民科1)		2	4	

■このイベントについて

このイベントを知ったきっかけ(複数回答可)	学校宛チラシ	知人	その他		
	8	3	1		
参加した理由(自由記入)	・日時が学校閉庁日内だったこと。 ・専門的内容に興味があったから。 ・学習したかったから。 ・以前から自由民権記念館に行きたかったから。 ・学校現場における博物館利用について興味があったから。 ・授業でどのように資料を扱うか勉強するため。 ・自由民権の時代を深く知るため。				
ボリューム・情報量	多かった	やや多かった	丁度	未記入	
	1	3	5	1	
総合的な満足度	大変満足	満足	未記入		
	5	4	1		
総合的な満足度	・(大変満足)活用 of の具体を描くことができた。 ・(満足) 予想していた通り、歴史の復習となった。 ・(満足) とても良かった。 ・(満足) 教育現場での実践例が非常に参考になった。				
来年も参加するとしたら次回希望する内容(自由記入)	・板垣や植木、中江など人物にフォーカスした内容。 ・太平洋戦争前後の高知について。また現在と自由民権運動の対比。 ・自由民権運動の中で、どこかの時期、あるいは誰か一人に特化した講座。 ・常設展示を見る時間がもう少し多くほしい。 ・出前授業の事例紹介。 ・植木枝盛の人となりについての講義。				

■自由民権記念館の活用について

今後活用したいと思う内容 (複数回答可)	団体観覧	出前授業	資料画像の利用	調べ学習でのサポート	その他	
	2	7	4	2	1	
団体観覧(来館)において 最も高いハードル	交通費がない	(教員の)準備時間が取れない	子どもの安全確保	来館時間が確保できない		
	3	3	2	2		
当館活用の機会を増やす のに効果的なサポート・広 報(複数回答可)	教員対象説明会の定期開催	交通費の補助	各学校へのチラシ送付	HPでの案内	校長会での説明	その他
	4	3	3	1	1	1
資料等の画像を授業で使 う機会(頻度)、またその理 由	多い	たまに	少ない	未記入		
	5	1	3	1		
		・(多い理由)資料を使うことで生徒の関心が高まる。 ・(多い理由)ICT機器で見せた方がイメージがわかりやすいから。 ・(少ない理由)知らなかったから。				
どんな資料の画像を授業 で使ってみたいか(複数回 答可)	絵	写真	書簡・日記(民権家直筆のもの)	地図	その他	
	5	5	3	6	2	
教育関係の研修やイベン トの情報はどのように集め ているか(自由記入)	・チラシ(2人) ・職員室の回覧 ・Plant(=全国教員研修プラットフォーム) ・母校の研究室 ・インターネット					
その他意見・要望・感想な ど	・館長さんのお話を聞かせていただきながら館内を見せていただけて、内容が深まりました。なぜ土佐から自由民権運動が起きたのかが良く理解できました。生徒の多くが板垣退助も知らないという状況も出て来ているので、少しでも、高知から起こった自由民権運動に関心を持ってもらうために出前授業などから検討してみたいです。本当にたくさんの方の情報をいただいて、とても勉強になりました。 ・予想通りに楽しく歴史を再認識する時間となりました。 ・板垣退助の歴史について知れて楽しかったです。今後とも勉強させていただきます。 ・勉強になりました。今後の授業に役立てたいと思います。 ・多くの気づきがありました。解説があったことでこれまで気にとめていなかった資料にも目とまり、授業での活用方法を考えながらお話を聞くことができました。郷土愛を育むことにもつながると感じました。 ・学校の生徒が自由民権記念館を手軽に使えるように、スクールバス2台を保有してほしい。					

【資料 4】

R6.9.10

# 自由民権記念館 学校現場での活用に関するアンケート

本日はありがとうございました。お手数ですが、アンケートへの御協力をよろしくお願いいたします。

## ■あなた自身について

所属学校の所在地	<input type="checkbox"/> 高知市内 <input type="checkbox"/> 高知市外（市町村名：                      ）
担当されている分野（専門分野）	<input type="checkbox"/> 地理 <input type="checkbox"/> 日本史 <input type="checkbox"/> 世界史 <input type="checkbox"/> 倫理 <input type="checkbox"/> 政治・経済

## ■自由民権記念館について

自由民権記念館に行ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> わからない
自由民権記念館の展示を見たことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> わからない
自由民権記念館を学校現場で活用できることを知っていましたか。	<input type="checkbox"/> 知っていた <input type="checkbox"/> 知らなかった（今日初めて知った） <input type="checkbox"/> わからない

## ■自由民権記念館の活用について

今後、活用したいと思う内容はどれですか。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 団体観覧 <input type="checkbox"/> 出前授業 <input type="checkbox"/> 資料画像の利用 <input type="checkbox"/> 調べ学習でのサポート <input type="checkbox"/> 活用したい内容がない <input type="checkbox"/> その他（                      ）
団体観覧（来館）において、最も高いハードルはどれですか。	<input type="checkbox"/> 交通費がない <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保 <input type="checkbox"/> 教員の準備時間が取れない <input type="checkbox"/> 来館時間が確保できない <input type="checkbox"/> その他（                      ）
当館を活用していただく機会を増やすのに、効果的なサポートや広報はどれだと思いますか。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 交通費の補助 <input type="checkbox"/> 相談窓口の開設 <input type="checkbox"/> HPでの広報 <input type="checkbox"/> SNSでの広報 <input type="checkbox"/> 教員対象説明会の定期開催 <input type="checkbox"/> 教員対象メールマガジンの開設 <input type="checkbox"/> 各学校へのチラシ送付 <input type="checkbox"/> 校長会での説明 <input type="checkbox"/> その他（                      ）

## ■資料画像の活用について

資料等の画像を、授業で使う機会は多いですか。	<input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> たまに <input type="checkbox"/> 少ない （上記の理由：                      ）
どういった資料の画像を、授業で使ってみたいと思いますか。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 絵 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 書簡・日記（民権家直筆のもの） <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
今日の演習で使用した資料の画像がHP等で公開されたら、実際に授業で使ってみたいと思いますか。	<input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> 場合によっては思う <input type="checkbox"/> 全く思わない （上記の理由：                      ）

## ■その他

教員対象の研修やイベントの情報はどのように集めていますか。	
-------------------------------	--

この他、本日の御意見・御感想などをお聞かせください。

--

ご協力ありがとうございました。今後とも、高知市立自由民権記念館をよろしくお願いいたします。